古文書から読み解く、乱世の駿東郡！

# 裾野市史 第２巻

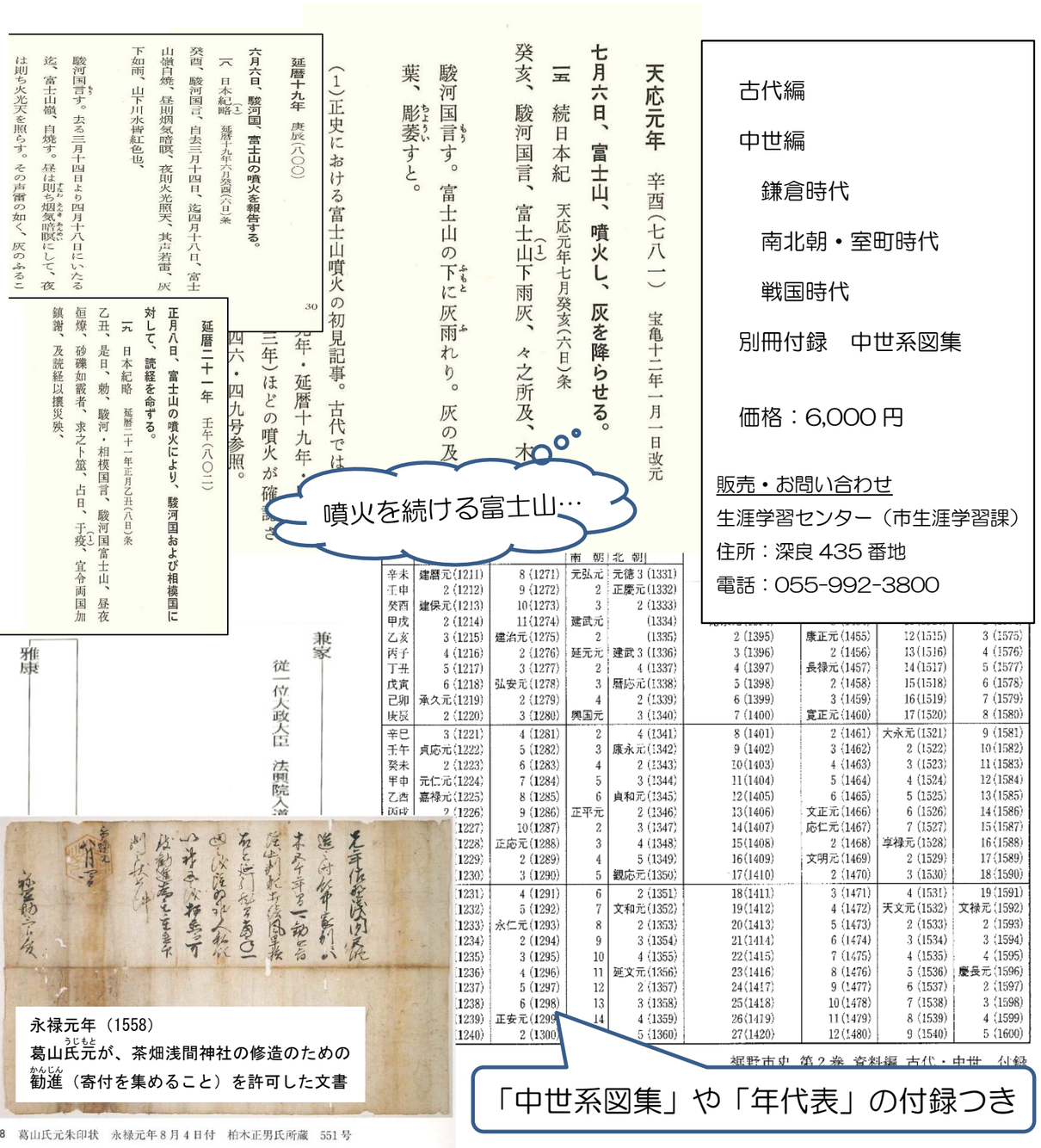
# 楽しい郷土史だより　第２号

平成２８年６月　裾野市教育委員会生涯学習課

裾野市史の編さん事業は、昭和 62 年から始まりました。平成 3 年、「資料編　深良用水」から発行が始まり、最終巻である「通史編Ⅱ」が発行されたのが平成 13 年のことです。このように、長い年月と多くの方々のご協力により編さんされた裾野市史は、私たちに、裾野市の成り立ちや昔の人々の生活を教えてくれます。

最終巻の発行から 15 年たった今、改めて裾野市史を例にとり、私たちの郷土史を紹介します。

## 東西日本の接点、古代・中世の駿東郡




古代編

中世編

　鎌倉時代

　南北朝・室町時代

　戦国時代

別冊付録　中世系図集

価格：6,000 円

販売・お問い合わせ

生涯学習センター（市生涯学習課）

住所：深良 435 番地

電話：055-992-3800

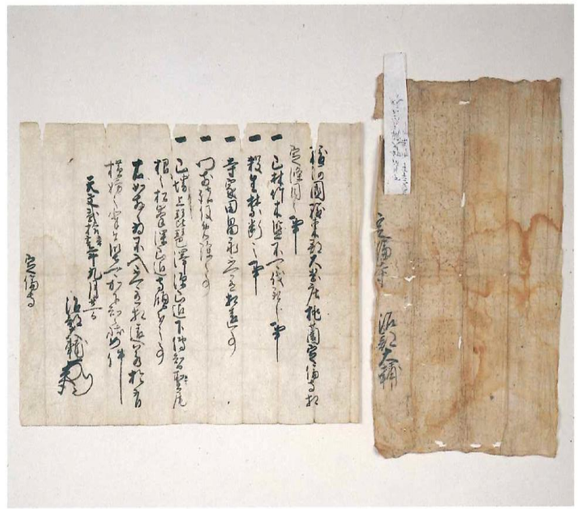
### 市史第２巻　古代・中世

本書では、古代とは有史以来、1180 年の源頼朝の挙兵までをいいます。中世とは、その後の鎌倉時代から戦国時代までを指します。

ところで、古代・中世の出来事と言えば、何が思い浮かびますか？

学校では、聖徳太子や仏教伝来、奈良の平城京と京都の平安京、武家社会の成立などを習いましたね。そしてその後の戦国大名の争いなどは、大河ドラマなどでも馴染み深いと思います。

そんな激動の時代、駿河国の東部、駿東郡ではどのような出来事があったのでしょうか？



5　今川義元判物　天文 20 年 9 月 21 日付　定輪寺所蔵　504 号

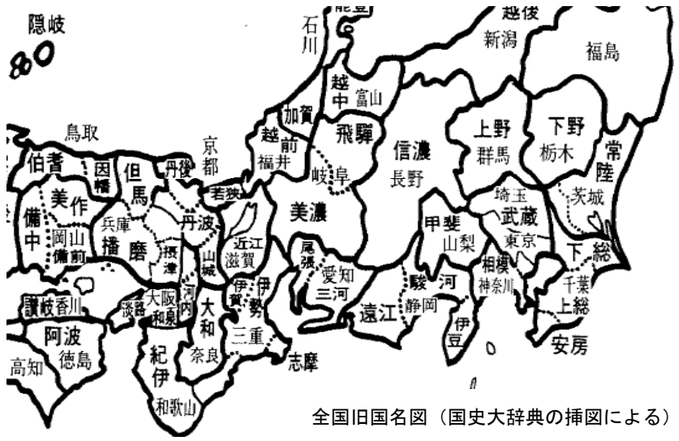
↑天文 20 年（1551）9 月 21 日

今川義元、定輪寺に寺領などを不入の地として安堵（確認）する。

↑“駿河国駿東郡大岡庄定輪寺”とあり、1551 年のこの古文書が、現在知られる「駿東郡」の史料上の初見です。

大岡庄とは、沼津市から裾野市にかけての地域を指します。

定輪寺は桃園にある曹洞宗のお寺です。戦国時代には七堂伽藍を備えた巨刹で、今川家の信仰が篤かったと言われています。




全国旧国名図（国史大辞典の挿図による）

# 日本・裾野の歴史年表　～古代・中世編～

## ―古代―

| 年 | | 出来事 |
|---|---|---|
| 飛鳥時代 | ５９３<br>６４５ | • 聖徳太子、推古天皇の摂政となる<br>• 大化の改新。蘇我氏滅ぶ |
| 奈良時代 | ７１０<br>７５２<br>７８１ | • 平城京（現在の奈良市街地）へ遷都<br>• 東大寺（奈良）の大仏ができる<br>**□「駿河国言、富士山下雨灰」**<br>→富士山の下に灰雨れり（富士山、噴火し、灰を降らせる）<br>正史における富士山噴火の初見記事。平安時代末までに、少なくとも9回ほどの噴火が確認される。特に平安時代、貞観6年（864）の大噴火では山梨県側に大量の溶岩が流れこみ、剗の海と呼ばれた湖が、精進湖と西湖に分断されたとある |
| 平安時代 | ７９４<br>９９５<br><br><br>１１５９ | • 平安京（現在の京都市街地）へ遷都<br>• 藤原道長が内覧（摂政就任前に大臣経験をつむための地位）となる<br>その後、摂関政治による藤原北家の全盛期。「この世をば　わが世とぞ思う　望月の　欠けたることも　なしと思えば」藤原実資の日記「小右記」より<br>• 平治の乱<br>平清盛と源義朝の争い。清盛は義朝を討ち、その子頼朝を伊豆の蛭ヶ小島に流す。平氏は朝廷内の官職を独占し、全盛期を迎える |

## ―中世―

| 年 | | 出来事 |
|---|---|---|
| 鎌倉時代 | １１８０<br><br><br>１１８５<br>１１９３ | • 源頼朝が平氏を討つため、伊豆の豪族北条時政の力を借り挙兵<br>石橋山（現在の小田原市付近）の戦い　→平氏方の大庭景親らに敗れる<br>富士川の戦い　→平氏方は水鳥が飛び立つ音を敵襲と間違え敗走<br>• 壇ノ浦（現在の下関市）の戦いで平氏が滅びる<br>**□ 源頼朝による富士の巻狩。曽我兄弟の仇討ち事件**<br>→愛鷹・富士・箱根山の麓に広がる原野は藍沢原と呼ばれ、鎌倉時代には将軍家や北条氏が何度も大規模な狩りを行った。これには、政治的デモンストレーションや、軍事訓練の意味合いがあった<br> <br>頼朝の井戸の森（十里木）<br>**□ 鎌倉時代以降、中世を通じて大森・葛山氏の活動が見られる** |
| 南北朝・室町時代 | １３３３<br><br>１３３５<br><br>１３３６<br>１３３８<br>１３９２<br><br>１４３０<br>１４６７ | • 後醍醐天皇、建武の新政で天皇中心の政治を取り戻す<br>しかし、公家を重んじた政治が武士の不満を生む<br>• 足利尊氏、後醍醐天皇に対し鎌倉で挙兵<br>**□（足柄）竹之下の合戦**<br>→後醍醐天皇方の新田義貞軍が竹之下の戦いで足利軍に敗れる。<br>藤原定家の玄孫にあたる二条為冬卿は、後醍醐天皇方の公家大将として参戦するが、竹之下の戦いで敗れ、佐野原に退き討ち死にする。この二条為冬卿をまつるのが、裾野駅南側にある佐野原神社である<br>• 南北朝の対立<br>• 足利尊氏が征夷大将軍に就任。京都に室町幕府を開く<br>• ３代将軍足利義満が南朝と講和し、南北朝が合一<br>義満が金閣を建造。その後、８代将軍義政が銀閣を建造（完成は死後）。<br>**□ この前後、大森氏の最盛期**<br>• 応仁の乱。全国に波及し、権力争い・下剋上の戦国時代に移っていく |
| 戦国時代 | １５２４<br><br><br><br>１５５０<br>１５５３<br>１５７３<br>１５８２<br>１５９０ | **□ 須山浅間神社の棟札**<br>→棟札とは、建立や修造の際に、施工年月日や大工などを記した板のこと。須山浅間神社は、社伝旧記によれば景行天皇の時代（110）に日本武尊が創起し、欽明天皇の時代（552）に蘇我稲目が再興したとある<br>**□ この前後、葛山氏の最盛期**<br>• 川中島の戦い（～1564　５回）<br>• 信長、将軍足利義昭を追放し、政権を握る（室町幕府滅亡）<br>• 本能寺の変。豊臣秀吉が明智光秀を討ち、政権を握る<br>• 小田原攻め。奥州平定。豊臣秀吉が全国を統一する |

須山浅間神社棟札

**□ 大森氏と葛山氏**

藤原北家を祖とする。藤原道長と関白の地位を争って敗れた藤原伊周、その孫である惟康が甲斐・駿河の国司として鮎沢庄に住んだ。惟康の次男親康が鮎沢庄大森（現在の深良）に住み大森姓を名乗る。三男惟兼が葛山に住み葛山姓を名乗り、大森・葛山氏の祖とされる。

大森氏は鎌倉時代、幕府を後ろ盾に、駿東一体を支配下においていた。上杉禅秀の乱（1416）をきっかけに相模国に勢力を伸ばし、1430年前後に小田原に本拠を移した。その後、北条早雲（伊勢宗瑞）による小田原攻め（1495）を経て滅亡した。

葛山氏は、鎌倉時代から大森氏とともに駿東郡内に本拠をおいて室町・戦国時代を通じて勢力を誇り、足柄路をはじめ、この地方の重要な交通路を掌握していた。

城址と居館址が今も残る。

葛山城址は、中世の山城の典型を見ることができる

いかがでしたか？日本の歴史の重大事件の中には、裾野市に関連の深いものも数多くあります。今後、近世以降も紹介したいと思っていますので、お楽しみに！

次号の『楽しい郷土史だより』は、市史第８巻 通史編Ⅰの中から、江戸時代の富士登山について特集します。

編集・発行　裾野市生涯学習課 文化スポーツ室　／　深良435番地　／　℡055-992-3800

当パンフレット『楽しい郷土史』は、市役所、生涯学習センター、鈴木図書館、市民文化センター、ヘルシーパーク裾野に配架しています。また、市ホームページでも公開しています。